明治四十四年三月廿五日發行
毎月一回十五日發行

婦人新報

第百六十五號

日本基督教婦人矯風會

67

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百六十五號

目次

○社說
○自然は汝最良の益友
○公娼問題と和歌山支部長の活動
○在外賣淫婦取締請願委員會を通過す
○未成年者禁酒法案衆議院に於て可決す
○良婦一夫一婦の請願になく
○世界に於ける奴隷賣買（醜業婦）問題
○警視廳病院の患者
○國の道德は婦人問題の解決によつて全ふせらる　伯爵　大隈重信君
○家庭欄
婦人の強力を要する二點　田川　大吉郎君
一家衰亡の源因は晩酌一杯の酒故　故小林　富次郎君
彼等は佗の愛を知らず　安中　花子
○内外通信
神戸、京都、和歌山、横濱、弘前、堺、長崎

社告

◎婦人新報定價（郵稅共）

一部（前金）	金六錢
六部（前金）	金三十五錢
十二部（前金）	金七十錢

（郵券代用一割增）

◎廣告料

一行（五號活字）　金十錢

明治四十四年三月廿四日印刷
明治四十四年三月廿五日發行
發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　横倉ヒデ
發行所　婦人新報社　東京市小石川區原町廿三番地
編輯及事務所　小石川區原町二十三番地

No. 165　　March, 1910

WOMAN'S HERALD.

Nature is thy great helpful friend!
Wonderful Achievement of Wakayama ladies against the Two Pititions passed in the H. C.
The problem against the public and private prostitution.
Oh poor women in the hospitals of the Central Police Office!
Woman only can make Morality pure and true.
—Count Okuma.
Home Dept.
S. S. Dept.

W. C. T. U. News.

Kobe, Kyoto, Wakayama, Yokohama, Hirosaki, Sakai, Nagasaki.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 23, Haramachi Koishikawa Tokyo.
70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百六十五號
（明治四十四年三月十五日發行）

社説

○自然は汝最良の益友

△人はパンのみにて生くるものに非らず

現在にばかり生きて働きて疲れて遂に斃れてしまふのは、眞の人生てはありますまい、即ち朝から夜まで衣食住の爲めに、使役されてそれて人間が死ぬものなら、人生と云ものは全く意味のない鳥や蟲と同やうなつまらないものてあると思ひます、枯れ蘆の樣に生氣のない、生活に疲れはてた人を見ます時に、私共は實に氣の毒にも思ひまた情けない事にも思ひませう、物質上の事にのみ思ひ艱んて居る人々にキリストは何と云はれましたか、野の百合を見よまた空の鳥を思ひと仰せられたてはありませんか、置く霜に葉は落ち莖はかれて根絶えしとも思はる野の姫百合、暖かい春の風が一度すさびはてた野原に音れ初める時に、深き眠より醒まされて、二度純潔な裝飾をこらして、春の樂を歌ひ自然の榮を顯はすてはありませんか、飼ふ人もなく梢を吾が家と恃む空の鳥は如何が餓も知らず顔に樂しく歌つて居るてはありませんか、況して考ふる能力と働く手足とを授けられた人間が衣食住の道を失ふと云ふ事はありますまい、與へられた者を用ゐずに怠て眠つて居つたなら、花にも鳥にも劣る生活をいたさねばなりますまいが、人間はそれほど愚かな無思慮のものてはないと思ひます、然れば唯だ當然てあるべきもの丶爲めに苦心する事は、寧ろ賢い仕方てはありますまい、然し世には美衣美食所謂我慾が人生の目的てあるかの如く考へる人が多いから、無智の人は之を滿す事が出來ればそれて足れりとして居ります、されど飽く事を知らぬは人間の常てあれば、空しい影のやうなものを追ふて／＼絶えず煩ひ苦しみます、この煩悶がやがて罪惡の手引となつて、玆に社會の平和が攪亂せられ人類の幸福が蹈み躙られるのてあります、こんな我慾を

専らにせんとする人のみからなる社會國家であつたら世界のいづこに美はしい香ばしい人生の花が見出せませう、神が私共人間を造り給ふた目的は、即ちその御栄を顯はさしめんためである事は誰も承知いたして居るてあります、パンを得ん爲めにのみ日毎汗して、此外に努力せねばならぬ事のあるのを知覺らないならば人間の價値は零てありませう。

△沈思默想は修養の秘訣

然れば人間は衣食住の外に何を求むべきか、靈と肉とよりなる私共人間は肉の事のみ思ひ煩ふばかりてなく、靈の生命を得んために、いそしまねばなりますまい、靈に付ける快樂に憧がれねばなりますまい、肉の快樂は貪に陷りますが、靈の快樂は無限の滿足を與へる事が出來ます、三百六十五日働いて疲れてそれて一年を送る人が實に多く御座います、一日働いて夜に入りて靜かに今日自らのいたした事を考へ、また靈性の發達を思ひ廻らし、偉大な力を仰へて凡ての俗事から離れて神と語り自然と語るならばその瞬間に得る喜は如何でありませう、云ふ可からざる感謝と幸福を感ずる事てありませう、一日に一回若しくは二回この靜思の時を私共が得るならば、實に人生の深い意義を悟る事が出來ませう、而し私の努力は影を追ふやうなあはひものてはなく、永遠無窮に榮える生きた命に期着するのてあります、沈思して私の心を神に統一する事が出來たら、それこそ人生最大の幸福を味へられるてせう、此幸福を味ふ爲めには私共の努力が必要てあります、一日〳〵を空しく送つて行つては如何てこの努力を養ふ餘裕が見出されませう、私共は常にこの努力に乏しい婦人の多い事を慨かはしく思ひます、家政育兒に忙殺せられて毎日夢のやうに送る婦人は多くはないてせうか、流行を追ふたり物見遊山に日も足らずとして居る婦人は多はないてせうか、唯だ成行にばかり任せて心をつかはない婦人は少い事てはないてせうか、私共は若し教會にでも誘ふやうな時には十人の中八人迄は家事向の事や小兒の世話て出られないと斷られ

ます、何にか眞面目な仕事に同情を願ふ時には、矢張り交際が多くてとてもそれ迄は手が屆かぬとつれない返答を聞きます、また餘り物質的の事にのみ苦勞せずに少しは精神的の修養によつて、滿足を得られては如何かと勸めるならば、多くは何にどうせ斯樣な運命になるのだから成行に任かせて置けば何とかなるであらうと半自棄の言を出されます、人間の努力が何處にありませうか、家政育兒に勞しても若しそれが眞面目に考ひ靜かに計つたものでなかつたらそれは徒勞てはありますまいか、美衣や交際て眞の幸福が得られるてせうか、其人の生涯は果して意味のあるものてせうか、無我無中（普通の意味）て送つて果して眞の天國を樂しむ事が出來ませうか、婦人の天職は實に重う御座ひます、人類の保護者てある婦人が、前の如く無思慮不眞面目てあつたなら、人類はいつ眞正の價値ある意義あるしかも幸福なる生涯を果し得ませう、私共日本の婦人は實に靜かに考ひ深く默して偉大なる力に接する事の少ないものてあります、基礎の定まらない活動は根なし草のやうなもので、好き實を結ぶ事は到底望れますまい、私共は物質上の快樂を以て滿足いたしたくはありません、精神上の快樂をより以上渇望いたしたいと思ひます、一日の勞働に疲れた神身は何に由つて回復されませう、一家の團欒眠或は食物もいく分か之を助けませう、然し四隣が靜まつた時に獨りひざまづいて、神に感謝し祈り而して讃美した時のその快樂はとても、之を味ふた人でなければ察する事が出來ますまい、その時の私共の心には不安も苦痛も憂慮も何にもない、たゞ滾々として盡きない神の愛が自分の胸中に滿ちて唯だ喜と感謝に涙が溢れるばかりてあります、この人間に神樣が與へられた特權を私共が毎日〳〵繰返すならば、外からくる凡ての苦痛心配に打ち勝つて、尚ほ胸中に綽々として餘裕ある事が出來るのてありませうこれ私共が努力によつて得た勝利てあります。

△木にも石にも言葉あり流るゝ小河にも教訓あり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私共は靜かに神と語りて、大なる慰安を受けると共に神の御手の業なる自然によつて、大なる恩惠を受けるものであります、心あらば月にも花にも言葉がありませう、今は冬枯の野も山も色見えて參ました、血を動るやうな春風に木も草も精をえて己がじゝその美をたゝへんとして居ります、朧に照らす春の夜の月の影には暖い愛のさゝやきがあるやうに思はれます、花の影を映して永閑に流るゝ小川は樂しい人生を語るかのやうであります、誰が花を見て鳥を聞いて不愉快の思を致しませう、一歩戸外に出づれば、天地は人生の春を示して居ります、夕ぐれの散歩にいひしらぬ快味を覺ませう、花を見月を眺め野に遊んで私共は自然の恩惠に浴します、汚れた小さな我共の思は、全く此自然の偉大なる力によつて同化されます、自然を喜ぶは文人墨客のみの特權ではありません、私共人間が神より與へられた特權の中の大なるものであります、私共はモットト自然に近づきたいもつと自然を讃美したい而して、何ものより皆教訓を受けて、靈性の發達に資したいと思ひます。

○公娼問題と和歌山支部長の活動

至誠天地を貫くとは、千載に通じての明言でありませう、熱誠のある所には如何なる奸手段も之が妨をなす事が出來ますまい、人生意氣に感ず人間は情の動物であります、熱烈な美はしい情を以て、他人が一事に盡瘁するのを見れば、木偶にあらざる限りは必ず之に同情を表し力を添へ共に動くものであります、和歌山支部會員諸婦の熱心なる運動に誰か動かないものがありませう、また此運動の樣を見て同情の力を惜むものがありませう、今支部長の上京運動の概略を左の報告によつて讀者にお知らせしたいと思ひます。

○和歌山支部長の上京

過般來常に苦闘しつゝある和歌山市公娼設置問題の件

市會通過後許諾の如何はたゞ知事の權限內に存する事なるも未だ其解決に接せず、尙置娼派議員は委員を上京せしめて中央政府に陳情する所あらしめたり、故に本部にては矢島會頭其他の役員諸姉屢々當局者に迫りて陳情する所あるも、直接痛痒を感ずるの地即ち和歌山より有志のもの上京して其筋に迫り反對運動を開始するの必要ある旨を通ぜられ、上京を促さる、故に役員會を即夜に開き、翌二月二十一日五時七分和歌山市驛を發し途中梅田驛に於て大阪婦人矯風會長林歌子姉同會書記淸水種子姉良人良吉君本部風俗課長名出昱子姉婦人ホーム奥田ふみ子姉等の同情深き送迎に遇ひ、特に林、名出兩姉の周到なる注意を受け、八時五十七分梅田を發し翌廿二日午後一時三十分新橋に着す、矢島會頭、横倉書記田中米姉の出迎ありしにも係ず構內にて會見するとを得ず直に乘車を走らせ番丁女子學院なる會頭の許に着せり、(此夕より中六番丁十番地なる田中逵方に滯在することとなれり)翌廿三日、午前より目的の運動に着手せり先づ都、中央、報知、國民、東京日々の五新聞を訪問して其應援を依賴し一面島田三郎君に乞て、內務當局者に面會の手を求む、同君快諾して紹介の書面を認めらる(地方局長床次竹二郎氏)夫より漸次警保局事務官書記官に尙夫より警保局長、內務秘書官に紹介せらるゝ事を得公娼設置反對事由を陳情する事を得たり然ども時是帝國議會開會中の事なれば要路の當局者に面會の機を求むる事容易ならず、朝に夕に其住邸を訪ふて、縷々陳情するの已むなきに至れり。而して他方面にありては我縣選出の代議士を通じて或は我等と同主意なる代議士に依賴して當局者の方針如何を知るの道を求め或は併せて本縣知事の確固たる意志の尙一層明かに知るを得しなど漸次に今回上京せし目的をも略達する事を得たり、最後に親愛なる舊友諸姉の同窓會に招れて、席上或る邊に於ける一消息の端緒を發見する事を得しは、又一奇といふべきのみ。

前段陳情の後各當局者の質問は實に一途に出てたり何れも軍隊の所在地には置娼は必要ならんといふ是れ我和歌山市在住の軍人を侮辱せるもの又在住軍人の志を

解せざるものなり故に軍人側の意見の夫れとは異る旨を極言して愼重なる調査を遂げられん事を乞ひて退きたり。右等の雲行を察し來れば我婦人矯風會は公娼設置如何に係らず常に軍人側に對して將校方の應援を求め或は兵士に對して親切なる矯風的態度を以て運動すべき義務ある事を層一層痛切に感じたれば斯道の爲めに有名なる山室軍平氏を其本營に尋ねて今後の運動につき其應援を依賴し氏は極々通俗的なる讀物を著はし印刷して送らんとの約を得吳々も依賴しおきて歸れり

余が此行矢島會頭の紹介を經て大隈伯に面會する事を得伯が婦人問題に對する面白き所見を聞く事を得たり然れども當該問題には直接の關係なきを以て之を省略す、目的は和歌山縣知事川上君に余が書面を持參し吳れとて一書を手許まで郵送せられたり。

○在外賣淫婦取締請願委員會に於て可決せらる

廿年余議會毎に提出しました請願の一つなる在外賣淫婦取締法案は下院請願委員會に於て可決いたしました多年齒牙にもかけられずに握つぶしにされて居りました我等の熱烈な願は、人士の耳を傾けられるやうになりました事は感謝の至りであります、誠を以て叫ぶ聲に反響のないと云ふ事は御座いません、やがて衆議院を通過し、上院で可決せられて外國に對する我國の面目を一新するに至るの日も、遠き將來でないと大なる希望を以て居ります。

○未成年者禁酒案下院を通過す

根本代議士の手より數年間提出された未成年者禁酒法案は多數を以て下院を通過せる事は、讀者の既に知らるゝ通りであります、私共は上院に於て同し好運を見る事と思つて居りました處況計らん遂に否決せられました、然し大勢は既に定つて居ります、失望する事は御座いません、來る年に於て吾等は必ず大なる感謝を以て、第二の社會を造くる人々の酒害より免れ得るの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

道を開かるゝ事を期待いたして祈るものであります。

○貞婦吾が刑法民法改正の請願に泣く

本郷は駒込に名の知て居るパン製造所があります、ある日の事本部書記のもとを一人の婦人が訪れました、それは曾て知り居る其パン屋の主婦さんでした、大きな包を傍に置きて、實はと話の端緒を開きました、珍らしい客人とて書記なる人何の用向かと怪しげに耳を傾けました、お主婦さんの眼には涙が一ぱいて今にも零が落ちなんとして居ります、其婦人は容をあらためさて、

去る三月八日の萬朝報に、矢島楫子様と仰しやる方が議會毎は一夫一婦の請願書を提出遊ばされた、毎議會一瞥も與られずに葬られるが、少も撓ないなか〳〵感服すべき婦人だと云ふ記事がありました（私は矢島先生は少しも存じませんが、あなた様（書記）が宅の電話をおかけになる矢島様が其方だと、店の手代に聞きまして參りました次第）私は其記事を讀んで嬉しくて〳〵其夜はまどろむ事も出來ませんでした、どれ丈の婦人が此一夫一婦の行はれない爲めに悲しい境遇に居る事でせう、私は廿年余も一生懸命になつて私共婦人の爲めに斯様な働を被遊れて被下お方様があるかと思つて、心強く頼母しくまた嬉しく感じました、何とかして矢島先生におめにかゝりたう御座いますが家の都合でなか〳〵外出が出來ません、それて何とかして此喜を矢島先生に聞え上たいと思ひまして、唯だ心の印丈を玆に持つて參りましたからお屆を願ひ度う御座います、私は十年餘も主人の蓄妾等にて一日も愉快な樂しい思をいたした事が御座いません、然し矢島先生の此働を聞きまして私も亦その會に入つて、心の慰安を受けたう御座います。

書記なる人は此話を聞いて非常に喜んで早速、矯風會に入會の手續をして上ました、之の婦人は唯だ不運に女々しく泣いてばかり居る人てない、必ず智のある

して感心な心のしまつて居る婦人と思ひました、よそては同じ記事を見ても、自分の境遇が悲しいそれであつても、之れほど勇氣を出して、自分の感謝と滿足を表はす人が少ない、殆と今までにない事であります矢島會頭が書記より彼の婦人のもたらした菓子折を手にされた時には、會心の笑と滿足が其面に溢れて居りました議會を通過せずとも、我等の叫に力を得て感謝して居る婦人が一人でもあつたから我等の希望は幾分か滿されたのであります。

○世界に於ける奴隷防止

（醜業婦商買防止問題）

白人奴隷商買即ち醜業婦商買は、昨年米國に於て大問題となり、國會は委員まで擧げて調査をした、昨年の暮に西班牙のマドリツトで、白人奴隷商買防止國際大會が開かれた、十五ヶ國の代表者殆んど四百名が集まつた、問題は主として下婢取締規則奴隷賣買の原因討究案であつた、そうして其原因の主なるもの丶一つは罪惡の商買を許可する條例の存在である、即ち曖昧屋淫賣屋などの存在による事は殆んと一致した議論であつた、そこで本會は金儲の目的を以て、不道德なる生活に婦女を導くものは、刑罰を加へると云ふ法律を制定するため盡力するやうにと、各國委員に勸める事になつた。）

山路愛山氏主筆の國民雜誌雜報にあつた記事であります、世界の大勢が此所謂奴隷問題の爲めに討究されるやうになつたるは實に感謝すべき事であります、世界が是れが防止に盡力して居るに係ず我國に於て尙ほ公娼なるものが依然として存在して居るばかりでなく、新らたに設置せんと百方計つて居る者があるとは實に慨くべき事であります、我國の公娼制度は一種の慣習から來て居るものであると思ひます、廢娼と衛生とは兩立しないとは、彼等公娼派の人々の口實であります軍隊の衛生公娼の存在によつて傷けられないならば、實に軍隊は無氣力無道德な者である、然し私共は確信

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して居ります國民の衞生軍隊の衞生思想はそれほどみじめなものでないと思ひます、公娼設置が軍隊のある爲めに必要だと申しますならば、其軍隊は非常な不名譽と侮辱を與へられたものでせう、亦國民の衞生云々と云ふならば之れまた國民の大恥辱でありませう、惡疫の傳染は何にも公娼設置によりて、防止する愚を學ばないでも、警視廳幷に當局者の方法が其當を得て居れば、必ず防止する事が出來ると思ひます、近頃朝日新聞に日々に連載せられて居る警視廳の患者なるものを轉載して此問題に付きて充分硏究して見たいと思ひます。

●警視廳病院の患者

△醜業婦の檢黴

花柳病の恐るべきは黑死病より大なり花柳病は實に國家の勢力を其根柢より破壞せんとする大毒魔にて上公侯宰相より下庶民に至るまで此の毒手に罹るもの勝げて數ふ可らず而して黑死病は家鼠の退治により其根原を掃蕩し得る如く花柳病は醜業者の檢黴により多少病毒の蔓延を制限し得ざるにもあらず、されば國家は曾て此の醜業者を取締りし行政執行法第三條「當該行政官廳は密賣淫の罪を犯したる者に對し其健康を診斷し必要と認むるときは本人若くは媒合者の費用を以て病院に入らしむることを得云々」とありしを昨年四月改正して「當該行政官廳は密賣淫犯者若くは其前科者にして尙密賣淫の常習あるものに對し其健康を診斷し若くは指定したる醫師の檢診を受けしめ傳染病性疾患に罹り必要ありと認むる時は、病院に入らしめ又は指定したる場所に居住せしめ其外出を禁止するを得云々」と取締の範圍を擴張せり

然るに長野縣にては改正行政執行法のみにて滿足せず進んで風俗上取締を要する稼業者假令ば料理店、飮食店の雇婦女並に藝妓に諭し毎月二回任意の醫師に就き健康診斷を受け若花柳病其他の傳染性疾患あるものに對しては治療を命じ又一方醫師をして其成績を警察官

に通報せしめ頗る好結果を擧げつゝあり而して去る十一月施されたる健康調査表を見るに無毒者有毒者の數左の如し

		檢診を受けし者	無毒者	有毒者
第一回	藝妓	一三一九	一一八六	一三三
	雇婦女	八三六	七三二	一〇四
	其家族	三四	三〇	四
第二回	藝妓	一二八八	一一六八	一二〇
	雇婦女	八一三	七〇三	一一〇
	其家族	三三	三〇	三

なる成績を得たり、云ふまでもなけれど長野縣にては娼妓密賣淫者に對しては十分の取締をなし居るに拘はらず尙ほ藝妓雇婦女或は夫等の家族に斯く多くの花柳病（重に）患者を發見せり打ち捨て置かば由々敷き結果を齎すに至りたるべきは明白の事實なりとす行政執行法第三條のみにては到底完全に花柳病を防遏し得べきものにあらぬは單長野縣が認むるのみにあらず天下擧つて皆然り代議士山根正次氏等は帝國議會に於て幾度か本問題につき建議する處ありしが遂に其結果は昨年七月十三日附勅令第三百十號によりて公布せられたり、其第一條に曰く『地方長官（東京府にありては警視總監以下之に傚ふ）は風俗上取締を要する稼業を爲す者の疾患を治療する爲め病院を設立し之を管理すべし云々』第二條に曰く『地方長官は行政施行法第三條の患者を收容する爲め必要なる施設を爲すべし但し前條の病院を以て之に充つるとを得』とありて從來の取締に第一條に廣汎なる意義を有する風俗稼業者取締法を添加されし譯なり

△醜業者檢黴問題

勅令附則には『本令は明治四十四年四月一日より之を施行す云々』とあるより警視廳にては娼妓病院にして從來當業の經營に係るものゝ寄附を受け之を警視廳病院となせり斯して警視廳の管理に移りたる病院名及び娼妓密賣淫の治療區域左の如し

警視廳病院名	娼妓治療區域	密賣淫者治療區域
吉原病院	新吉原、南千住、千住	
洲崎病院	洲崎	東京市、南葛飾郡
品川病院	品川	荏原郡

新宿病院	新宿板橋	北豊島豊多摩兩郡
八王子病院	八王子	南西多摩兩郡
府中病院	府中調布	北多摩郡

而して各病院には院長、醫長、調劑長、事務長、醫員調劑員、事務員等の職員を置く筈なり是等皆警視廳のお役人たるは勿論なり

警視廳病院規程第一條に曰く『警視廳病院は娼妓又は密賣淫者の疾患を治療する所とす』とあり此處に云ふ密賣淫者なる意義は極めて注目に値するものなれば試みに之を當局者たる栗本三部長に質せしに『密賣淫者の取締は四月後と今日と異ならず只密賣淫犯者若くは密賣淫の常習あるものを檢黴し有毒者は之を病院に送るまてなり』と云へり記者は『淺草公園附近には少くも一千六七百の密賣淫婦ありて彼等は百中九十九までは有毒者なり此等を檢黴せば洲崎病院廣しと雖も到底收容する能はざるべし是を如何にせんとするにや』と問へば三部長は『誠に然り洲崎病院のみにては到底收容し得るものにはあらず此の事に付いては日夜工夫中なれども未だ名案なし併し取締の方法は從前と異なる處あるにあらねば從つて病院の狹隘を感ずることはなかるべしと信ず』と答ふ是に依り三部長の意見は大約知るを得たり、蓋し三部長は行政執行法第三條により密賣淫者を洲崎病院に入院せしめんとするなり即ち密賣淫現行犯者及び密賣淫の前科者にて尚密賣淫の常習ありと認めたるものを檢黴し有毒のみを洲崎病院に入院せしむるものにて勅令第二條に該當せるなり

斯くては到底勅令の目的は之を達する能はざるべし勅令は其第一條に於て『風俗上取締を要する稼業を爲す者の疾患を治療する爲め病院を設立し』と定めあればコヽに云ふ風俗上取締を要する稼業なるものは行政執行法第三條勅令第二條以外の者たるや明かなり然るに警視廳が故に勅令第一條を無視せんとしつゝあるは更に吾人の意を得ざる處なり而して風俗上取締を要する稼業なるものは地方長官により元より其見る處を異にすべきも花柳病に關係を有する風俗上取締を要する稼業なるものは中央警察令としては賣淫即

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ち娼妓、密賣淫あり地方警察令としては劇場、寄席、待合茶屋、遊船宿、貸席、料理屋、飲食店、藝妓屋芝居茶屋、藝妓等あれば是等醜業者の全部を無視して只執行法第三條のみに依らんとするは寧ろ不當の遣り口にはあらざるか

△藝妓酌婦等の健康診斷

風俗上取締を要する稼業者に對し最も都合よき取締をなせるは千葉縣なり左に千旨を語りしに大原署長は之に賛し同十月大原管内の風俗上取締を要する稼業者に對し自衛保健の必要を説き保健組合を設けしめ毎月二回の健康診斷を受けしむることゝし其成績亦甚だ良好なりき次いて野田警察署も之に習ひて保健組合を作らしめたり、斯くて夏秋事務官は保健組合の成立は不能にあらざるべき自信を得四十三年二月料理店飲食店藝妓屋營業者に對し便宜の區域により保健組合を組織せしめ藝妓、酌婦、雇女等をして組合員とならしめ概ね毎月二回所轄警察官署の指定せる醫師につき診斷を受けしめ警察官署をして間接に之を監督せしむると共に其有毒者に就ては休業又は不休業治療を爲さしめ尚毎月警察署よりは診斷結果治療狀況等の報告を徴するとせり、而して各受診者は日と共に漸次自衛の必要なるを自覺し來り昨年十月以降は局部診斷を行はしむるに至れり、其規約書左の如し

何々保健組合規約

第一條　本組合は料理店、料理店兼旅人宿、飲食店及藝妓屋營業者を以て組織し藝妓、酌婦、雇女の健康を保護し病毒の傳播を自衛するを目的とす

第二條　本組合は何々保健組合と稱す

第三條　組合事務所は（何々何番地）に置く

第四條　本組合は第一條の目的を遂する爲め左の事項を實行することを約す

一、藝妓、酌婦、雇女は毎月何回所轄警察官署の指定したる醫師に就き健康診斷を受け疾病あるときは治療を受けしむること

二、健康診斷を受けたるときは其の都度別に定むる樣式の票紙に醫師の記入認印を受け置き警察官吏の求めに應じ何時にても之を提示せしむる

こと

三、健康診斷を受くることを肯んぜざる者は之を解雇し又は寄寓せしめず若くは雇入れざる事

四、第一號の治療期間内は客席に出入せしめざること

第五條　患者の診察費及治療費は本人の資力なき場合は組合の費用を以て之を負擔するものとす

第六條　此の規約の事務を處辨する爲に左の役員を置く但し其の氏名住所等は所轄警察官署に屆出づるものとす

一、組合長　一名

二、副組合長　一名

三、評議員又は幹事　若干名

前項の役員は無報酬にして組合の公選とし其の任期は何ヶ年とす

第七條　此の規約に違背したる者は一圓以上十圓以下の違約金を差出す義務を負ふものとす

第八條　組合員此の規約に違背したるときは評議員又は幹事會を開き前條の範圍に於て違約金額を評決し組合長より之を違約者に通告するものとす但し違約者は其の通告に對して異議を唱ふることを得ざるものとす

第九條　前條の通告を受けたる違約者は十日以内に其の違約金を組合長に差出すべきものとす

第十條　違約者より差出したる違約金は組合の費用に充て若し剩餘金あるときは健康診斷料治療費等の補助に充つるものとす

第十一條　組合員は組合費に充つる爲め毎月何日限り金何錢（例へば五錢）づゝを組合長に差出し積立置くものとす

前項の積立金は組合長に於て郵便貯金となし必要に應じ支出するものとす

第十二條　組合員廢業其の他の事由に依り組合を脫するも前條の積立金は拂戾を爲さゞるものとす

第十三條　積立金の收支は毎年一回（翌年一月）決算報を告爲すものとす

△醜業者身體檢査の急

斯くて千葉縣に於ける保健組合は漸く善良なる發達をなせしより靜岡長野其他の各縣も亦之に倣ひて保健組合を設け風俗及び衞生警察の圓滿なる取締を計畫せり

明治四十三年二月より同四十四年一月に至る千葉縣下自衛的健康診斷成績表を見るに受診人員は藝妓二千五百九十六、酌婦二萬百零三、雇女一萬二千九十一、計三萬四千七百八十九に達せり而して此の受診人員は各種就業者の毎月末現在の延數なり而して有毒者はトラホームに於て藝妓十七、酌婦二百三十九、雇女百八十七、肺結核に於て藝妓○、酌婦三、雇女五、傳染性皮膚疾患（花柳病を除く）藝妓一、酌婦四十九、雇女十七あり更に花柳病に付て之を見るに黴毒は藝妓八、酌婦二百十六、雇女八十七、軟性下疳は藝妓四、酌婦百三十七、雇女二十三、淋疾は藝妓○、酌婦五十二、雇女十四に達せり此の成績に依れば花柳病は極めて少きものゝ如けれど千葉縣にて局部檢診を施行せしは僅に昨年十月以降なるのみならず彼の藝妓の如きは娼妓と等しく局部の診斷を受くるとを欲せず醫師にも亦手心ありて强ひて個人の秘密を報告せざる等の內情ありて未た完全なる診斷表を得るに至らざるは甚だ遺憾なり單に此表にのみ現れたる處より察すれば長野縣の健康診斷の却て千葉縣の上にあるを知るに足るべきなり

次に受診者百に對する有毒步合を千葉縣下各郡に分ちて見るに有毒者最も多きは夷隅の八、○五八なりとす夷隅は大原警察管內にて最も早く健康診斷を開始し最も都合よく組合の發達を來せしものなれば病毒隱蔽者少く爲に高步合を示せしものにて他地方より有毒者の多しと速斷す可らず蓋し本表は全縣下有毒者の分布狀態を知るには餘りに杜選なり畢竟各警察署の組合組織に盡瘁せし其力の例を見るに足るべきものとす而して夷隅の次に位するは匝瑳の六、一七一、海上の五、四一九、安房の三、五八五、長生の二、七七三、香取の二、四○九、市原の二、三八○、印旛の一、七九七、君津の一、三八八、東葛飾の一、三四四、山武の一、三二九にして最も少きは千葉の○、九四一にて千葉郡が最も少きは縣廳所在地にて人口最も密集せる場所なれば種々の事情の纏綿あり警察取締十分なる能はざるに依るものと察せらる

千葉縣にて實施せる保健組合を直に東京府下に適用せ

よとは事理に通ぜざるの謬りあらん歟何等かの方法を以て府下醜業者の取締を決行し病毒の傳播は之を防がざるべからざるなり徒らに各署思ひ思ひの取締に從事し彼等をして益惡辣なる手段を講ぜしむるは策の得たるものにあらざるなり

○道徳は婦人問題の解決によつて全うせらる

伯爵　大隈重信君

△社會の良風は子女の教育に俟つ

世の中が復雜になればなる程、色々の罪惡が行はれて來るのは當然の事である、が今日我國の社會の狀態には甚だ心もとなく思ふのである、青年男女の道徳品性問題が八ヶ間敷彼是と唱らる、然ば其青年者を指導する人は果して立派な人格を供へて居る人々てあるか、賴母しい人々てあるか、之は大なる疑問てある、私は思ふ今日の社會を改善したいと思はゞ消極的ばかりては駄目てある、積極的の方法を講ぜねばならぬ、私共は正義の味方を澤山に造らねばならぬ、されば私は子弟を多く教育して私共の味方としたいと思つて教育に盡力して居る、私は社會の惡風は教育に由つて其の大部分を防禦し得と信して居る、而して之に眞の道徳觀念を持たせたいと勤めて居る、然し今日迄の道徳の根源即ち忠孝の意義が間違つて居つた、根原淸からずして如何て末流の淸を望み得よう、孝の根本義を誤つて居て之に孝なれ忠なれとは大なる間違てある。

△子は精神的物質的の遺傳を父母より受く

今まて忠孝を稱へた人々は、此道徳に婦人問題の含まれて居るのを全く忘却して居た、單に女性として此女性が如何に大なる力があるかには全く氣が付かなかつた、夫婦即ち男女は決して二ッの物てはない、男性女性之れは唯だ生理上組織に於て少しの差異があるばかりて、ある點より云へば男女の區別なとがないのてある、人の子は單に男子の子てはない、男女によつて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

出來たので、子は物質的精神的に於て父母相方の遺傳を受けてるのだ、換言せば人間の半分は父のもので半分は母のものだ、それて此の二ッあつて初めて人間になるのてある、處が今迄の東洋の道德に於ては單に男性的からばかり論して女性に對して些の注意をも拂てゐなかつた、人類と云ふものには生理上男女兩性の別があるが、詮じつむれば矢張一つてある、されば孝子を出さんとつとめても、女子問題を解決せんて男性側よりばかり勉めたら、それこそ不完全な孝なるものが出てくる、私は自分の學生等を東洋哲學の意味を以て教育して居る、孝經の初めに「身體髮膚之を父母に受く之を毀損せざるは孝の初め」とある、またその結尾に「身を立て父母の名を顯はすは孝の終なり」としてあるこれてこそ眞正の孝子てある、然し孝經の中にある教訓の多くは不完全てあると思ふ、婦人即ち母なるものを無視して居て凡て男性的てある、婦人問題を解決せずして眞の忠孝を釋たり、道德の完全を望んだりするのは木によりて魚を求めるやうなものだ、眞に婦人を解釋して忠孝の道を全ふする事を得ば、社會の罪惡は余程輕くなる事てある、否罪惡の根を絕つ事が出來ようと思ふ。

話は少し違ふが努力が大切てある、世界文明の渦中に投じて婦女子ても大活動をなし、競爭場裡に奮鬪して社會に貢献する事が出來たならば實に愉快な事てはないか。

（文責有記者）

家庭欄

○婦人の盡力を要する二點

田川大吉郎君

第一　教育の方面

○家庭と學校との聯絡を親密にすべし

お集りの皆さん方は想ふに多かたは子持の御方と察しますから、殊に御注意を促す次第てあります。お子様方を小學校へ御上げになります時には出來る丈善い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

學校をお選びになる事であります、即ち校長の人格重なる教員の人物及び教授の仕振り且つは其の性質等を研究せねばなりません、其校長教師の人格が信ずるに足る人であつたら、始めて大切な子供を托する事が出來るのであります、私は東京市内の學校に關係がある故もし今日の小學校が皆さんの御望み又御考に適せぬと云はるれば誠に殘念でありますが、然しよく御意見を伺ひ又御同意を乞ひて其れを參考として方針を取り度と思ひます、つまり皆さんの御考を參考と度したいのであります。然るに私はあまり大膽の言分ながら、日本の婦人が其れをよく務めて居られぬと言ひ得るのであります、西洋の御婦人は殘らず此に注意するとは申ませんが、ともかくも日本の婦人は西洋婦人に比して此大切なる務めを怠つて居るといふ事は敢て申す事か出來ます。又子供が通學する學校へは可成多く參觀して、子供と共に學ぶと云ふお考でなさらなければなりません、子供の學ぶ位の事は凡て御承知であることは勿論でありますけれども、又其中には自分にウナヅかれる事も必ずあらうと思ひます、且又自分が小供の學校に於ての生活模樣を知ることが出來ます、此して家庭内に於ける小供の生活の有樣と學校にての其れと一致するかどうかといふことを知ることが出來ます、即ち家庭にて柔なる小供も學校にては剛なるもあり又學校にて柔なるも家庭にて剛なるもあります、其れらを知ることは實に大なる利益でありますす、子を知ること親に若かすと申ますが、誠に其通りであつて教師の知る處は親の半分にも及びません、其教師に大切な子供を托するのは教師にもつとよく子供を理解させねば、或は教師が子供の性質に反對する樣な教育を施すかも知れません、其れを防ぐためには家庭に於ける小供の樣子を談じ又希望を語りて學校と家庭と兩方から注意すべき筈のものであります、故に小供の就學前によき學校を選び入學後は前申す通り家庭と學校はよく連絡して進歩を計る可きものであります。私は實に此方面には婦人の御盡力を尤も願ふのであります、是れて私の目的の一は達せられたのであり

ます。

○教師の恩を忘れざる樣子供に注意すべし

猶もう一つは今日の子供は教師の恩を覺ゆる事が誠に淺いと思ひます、是れも親の注意が足りないからだと思ひます、是れは親の責任にて教師の恩は親の恩と共に覺えさせるといふことは、尤も必要のことにて、是が出來ねば即ち忘恩の子にて、或は名を擧げても精神の正しい全き人とはいへますまい、どうぞ教師の恩を覺ゆるといふとゝに、必ず御務めを願度く思ひます、と父母兄弟祖父母の恩を覺ゆることを敎へるに油斷をなさいますまいが教師の恩を知るとを確に敎へるかどうか私の判斷をゆるさるれば、或は怠り居られるではあるまいか、祖先の恩は覺えても教師の恩は覺えて居られぬだろうと思ふのであります、今日の學校といふものは家庭の領分に余程立入り居ります。其れは皆樣のお手が屆かぬからであります。

全體子供の普通教育は家庭にて充分なる筈てあります、然し殘念ながら其れが出來ないから國家が是れを預つて國民教育をするのであります、學校と家庭には領分などあるべき筈でありません、もし境を立れば昔は家庭が主てあつたが、今は學校が主てあります、故に教師は親替りをして居るのであります、故に教師の恩は親の恩てある、親の恩を知つて師の恩を忘れては間違つて居ります、師の恩を知つて始めて親の恩を知るのであります。

又私は市内の小學校を巡視して生徒が自分の同級生の名前を悉く知るものは少ないのであります、暗んずることは出來なければ、せめて書附けて置けばよいが其れさへ稀であります、よく子供方をしらべて御覽なさい私は幾人もあるまいと思ひます、實に殘念の事で、これにも御注意を願度いのであります、私は巡視の折に小供に申ます、廿年卅年の後になつて舊友を思ひ廻らす事は一生の中にて、一番樂しい事てあります、私を信じて殘して置きなされ、是れは家代々の主寶の一となります、同級生の名前を書くと共に、校長教師の名前をも書きつけさせなさい、私に經驗があ

ります、私は九州長崎の生れてありますが、明治十年八才の時東京に參り今の麴町小學校が平河天神の向の方に在りました時一年半許此學校に通學致しましたが、其時の先生の名前はよく覺えて居りません、校長は齋藤といふ人て組の先生は町田といつて名は覺えて居りませんが、今の植村先生の御住居の處に、星野といふ人があつて、其處に大きな長屋があつて、町田先生は其處に住つて居られたと思ふが、今は其恩人の生死所在さへ知りません、實に殘念と思ひます、子供の時の友だちにて、大學の宮島氏などを覺えて居りますが、其の外を思ひ出すと實に殘念て物足りなく思ふのでありますが、私の此れと同じ恨みを今日の子供に持たせたくないと思ふのであります、子供自身には今氣がつくまいが、皆さんの少しの御注意によつて是れが出來又子供自身がゆがみなりにも自分の字で書いて、習いたものが本箱の中から出た時云ふに云はれぬ樂しみがあります、是れ等も皆皆樣の小さき御注意によりて出來るわけて御座いますから私は是非このことを願ふのであります。

第二　慈善の方面

紀元節なりしかと覺ひますが、府下慈善事業團體を選賞した事があります、其時私は都合があつて其處に列しませんでしたが、其れを見ると婦人の關係の團體が相應にあるのであります、矢島楫子先生なども此時御見えになつて居つたと思ひまして、其翌日に京濱に渡つて同事業に關係ある集合があるときゝました參つて見ましたら、出席者八十人位の內婦人の方は一人もありませんてした。

私はよく此事實を考へて頂きたいのですが、慈善は婦人の事業てあります、此事業が尤も婦人に的して居ります、男子は他に忙はしい仕事が澤山ありますからもし御婦人が此事業を引受けて下されば喜んて婦人方にお托しゝたいのてあります、男子が手を出して居るから御婦人が遠慮なさるのでせうが、是れは婦人に奮發して頂き、是非お願ひし度いと思ひます、一昨年と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

思ひます私の關係ある新聞紙の催しにて市内の特志家からすたりもの即ち無用のぼろを頂き其數二萬程を集めて十二月の下旬に下谷萬年町四谷鮫が橋芝新網などの貧民へ其れ〳〵切符を出して買つてやりました、其時の樣子を見ると貧民の方にては只貰ふといふ事よりも、少しにても金を拂つて買ふ方を喜ぶ樣ですから、普通古着屋の五六分の一位に安く、各値段を付けて賣りました仲には惡い商人が出て來て買〆る樣な困た事もありましたが、貧民が喜んで金は前以て用意して買ひに來ました、昨年は水のために差支へましたが、不用品を集めて貧民に賣り渡すなどは、西洋にて新聞社が集たり團體が致したりする事は珍しくありません。日本にても此事業は婦人に尤もふさはしき事と思ひます、年始より適當なる時期を見て此樣な集會にてそれ〳〵繕ひなどして値段付を考たりして陳列して貧民の望にまかせて賣り、其金はどうても又適當に用ひればよいと思ひます、西洋などては其處に出入る物に茶菓を準備して靜かに老人、子供を慰める方法もあります、私たちが致した時は其賣上金で貧民に國技館にて角力を見せ辨當を出し福引を出しなど致しました、一年に一二日此等みぢめの人のために、會を催し、此樣な方法にて施しをなすことはほんとによい事てありますまいか。是れが諸君に望む慈善の方法てす。

少し手がかゝりますが一昨年やりました時、貧民小學校が七ッ市内に在りますが、其校長の方が同情して父兄にすゝめて貯金をさせ、其日に限つて金を引出し、外の日に買物を見合せて、學校の近所の人を成るべく多く集めて貰へました諸君が同意して用意が出來た時一寸報知してやれば品物は心配なうさばけます、一昨年は二萬余りが一ッも殘らずになりました、諸君が今から集めれば自分の思ふ三四倍は出來るだらうと思ひますから是非おすゝめ致します、市の貧民學校が今は九ヶ所外に慈善家の手にて數ヶ所ありますから、是非これを諸會に見てほしいと思ひます、都會の貧民は田舍のより美しいから、田舍の人が見ると是れが貧民かと驚きます、たとへば田舍の貧民となると寒中足袋な

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

どはいているものはありませんが、東京では手が御ざいますから足袋なして居るものは少なくあります、其外の事でも澤山御感じになることがありますから、是非養育院などは見て頂き度のです、金港堂の夫人は市内ても有名な働き手でありますが、此人は年一度は必ず家中の人々を連れて養育院を見に出かけます、後それから二週間位は小間使や下女などは勿論家內のもの丶心がけか大變違つて來るそうです、ですから自分は家の風を引しめろために見に行くといはれて居ります、それ丈の目的でも甚だ結構です、注意すればまだ／＼いろ／＼利益になることがあります、此婦人を私は諸君以上の婦人とは思ひませぬ、まして諸君が御覧なさればたしかに非常な利益があります、人のふり見て我がふりなほせ上のみならず下をも見れば又利益はあります、是れは諸君の務めと思ひます、婦人の務めは家庭の內といふに異存はありません第一は家庭です然し家庭內の事は外の事と相俟たなければ出來ません、日本の今日に適當な考を持つには西洋の事を知らねばなりませんから、和漢文にて滿足してはいけぬ、西洋の文字思想に達することは日本の助となるので、家庭の王者は內外の事を知る必要があります。

家庭の仕事を學校で敎へ、手內職といふものが減つて凡ての仕事が外にて行はれる時代の大勢となり、昔のわた車は今は紡績會社が盛んになして家內の工業がなくなり此工業も婦人の必要と婦人を要するので此方面から見ても昔と今とかわり婦人が外の空氣に觸れるといふわけです。

お轉婆になれといふに非ず己を不得左樣なるものです故に第一に力を入れる方面は慈善と敎育といふ此空氣にふれねばなりません、さもなき時は芝居遊山などを考へて此方面に走りては過は多く此に起るのであります、諸君の如く理性のまさつた方計りの集りて新らしき清い光を以つてお進みなさる諸君に依賴して以上の働きをまかせ、男子の手を引いて男子は更に生々として方面に入ることを望むのであるが、男子の取る方面にも又恥かしいけれど、諸君のお助を得て互によき

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭を造りよき國家を造り得るのであります。

(文責記者にあり)

◎一家衰亡の原因は本是れ晩酌一杯の酒(岡乃光轉載)

(ライオン主人小林富次郎氏が得意の談柄)

◉禁酒の店則に由りて人物と成る　私は是迄酒害に就ては随分種々なる實例を見聞して居りますが其内近頃其位人をして悲慘の境遇に陷らしめた者はあるまいと思ひますのは、兼ねて雜誌などに述べました通り、私は自身が禁酒以來本店支店其他工場等に於ても凡て禁酒禁煙を實施致し若し店員職工の中に夫れが守れないと申す者がありますれば氣の毒ながら暇を取らせるといふ事に致しました、扨て其内に一廉役に立ち一の事業を擔當して居りました一人りの若者が居りました、此者は元來酒屋の出身でありますので、幼少の頃より商賣柄酒は中々飲める口でありましたが、私が右の通り禁酒を店則としたので、此男も禁酒を實行して至極質直な敏腕な人物となり、自然他人の目にも感心な男だと見られる樣になりました處、私の親戚同樣にして居る人で、財産も相應に所有して居るが、夫婦の間に娘が一人り丈けて、跡目相續する者がないからとて、適當な聟を探して居る最中、フト右の若者が目に留り私に是非養子に欲しいから世話をして呉れろと言ふ、私も當人が出世の事でもあるから至極賛成を表して此縁談を目出度取り極めて遣り、而して當人は養子先きから私方へ通勤する樣になりました。

◉親爺の手で子息を墮落せしむ　扨て此養父なる人は極の好人物で、殊に一杯飲むと惠比壽の樣になり、ニコ〳〵して喜んで居る計り、夫れも一日の事業を終ひ晩酌にホンの德利に一本をチビ〳〵飲んで直にゴロりと寢て終ふと言ふ、誠に世話のない酒なので、其妻女が私方へ來ては宅の酒は實に良い酒ですなど自慢を言ふ位、誰れも彼の人の酒なら藥にならうと毒になる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

まいと壓めて居りました、然るに誰れも酒飲みは承知致して居る通り獨酌といふ者は何となく興味の薄いものて、毎に側に飲まない人が眞面目な顏て居られるのは、何んだか氣になるものてあります、夫れて此親爺さんにも毎晩一と銚子宛チビ〳〵やる側て、養子殿が禁酒的の態度て座つて居るのてすから、如何も酒が旨くなく、夫れて『ドーダおまへも今日は一ン日働いたのだから骨休めに一つ附き合つては如何だ、一杯上げやう御店の方へは己れが默ッてさへ居れば分りはしない』と一度ならず二度も三度も獻れる盃を、養子の身ては遉に左樣强面くも斷り切れず、最初の程は多分義理一片て受けて居たのてしやうが、元來下地のある人物てすから、一と猪口が二タ猪口と重なるに隨ひ遂に酩酊する迄に飲みなれました。即ち是れが

◉抑も此一家の悲劇の序幕に成らうとは、親爺殿も夢にも氣が附きませんてした、扨て前申した通り養父は評判の良い酒て醉ふと直に寐て終ひますが、養子は醉ふと中々左樣大人しく宅には寐ませんて、内を外にする事が始りました、然るに實體な養子て殊に子供まてある身の上てありますから、マサカ放蕩夜遊びなど致しはすまい、何か店用てもある事だらうと、親爺初め全家が左樣默ッて居りましたは大間違ひて、最早や立派な放埓物と成り濟まし、何時の間にか親爺の財産に迄も手を附け大穴を明けたので養父も初て氣が附き驚いて見たが跡の祭、後悔臍を嚙むも不及といふ場合と成り、扨て其原因を段々糺して見ると如何てしやう誰れを怨む事も出來ない、折角私の處て禁酒して眞面目な確實な人間になつた其若者に、親爺自身が態々一杯吞ませて晩酌の相手に爲せたが原因て、遂には子迄ある娘と緣を切らせて追ひ出さなければ成なぬ樣になりました、何と恐ろしいものては有りませんか已に此事に就ては親爺なる人にも、よく〳〵後悔したものと見えて、私方に參られ自身の過失、身から出た錆、今更誰れを恨む事も出來ないから、唯だ諦めるの外は仕方はないと、シミ〳〵酒害を白狀に及びました然し世間には此養父の樣な人が幾等あるか分りません誰れ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夫れは誠に良い酒だ、何一杯位は害はないなど、善く口癖に言ふ事てすが、其一杯の結果が此悲慘な成行きとなる狀態を見聞したならば、狂人白痴に非ざる限りはモハヤ左樣な事は曖氣にも出されますまい。

●●●●●●●●●

●悲劇尙ほ未だ終局に至らず　扨て此養子の離縁で一と片附きました樣なものゝ、親爺は男の事ですから我慢も出來ましたらうが、其家內は娘の不幸と孫の不憫さに一日半時も苦心の絕ゆる事なく、遂に夫れが原因て病氣と成り、追々重體に陷りました處、私が先月名古屋の同盟大會に出席中、彼の地に書面到來可愛や此お袋さんには到頭死去致したと申す訃音に接しました、如何てしやう、私は幾くも繰り返さずには居られません、良い酒だ〳〵と言はれた養父が無理に飮ませた一杯の酒から、身代には大穴を明け、厭きも厭かれもせぬ夫婦中を裂て、可愛い孫兒を父無しに爲た其上に、女房が苦勞死とは何んたる悲慘な事柄ではありませんか、私は斷言致します、世間には飮酒の結果此樣の家族が幾百千あるか知れますまい、嗚呼恐るべきは酒害てあります。

○彼等は母の愛を知らず

花子譯

近刊の米國醸酒家機關雜誌論說の一節に左の記事がありました

「今假に酒類販賣禁止が實現せられ、アルコールが全然社會より除かれたりとせは、我等が日常最も好みて食する種々の嗜好物は、如何になり行くにや、絕對禁酒家の一考をわづらはし度きものなり、之等の食品たるや、實に日々の食卓をにぎはする喜なり然もアルコホルを使用せずして之等のものに其特有の美味を與ふる事は不可能なり、即ち之等は總て皆小量の酒精を含めり。生存場裡の戰に勞れ果てゝ夫が食卓に就く時妻よ思へ！酒無き愛のコップの冷かさを然りながら酒類販賣禁止を絕叫する人々は、かゝる問題には何等の痛痒をも感ぜざるべし、如何

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

となれば、彼等は文明的生活の眞髄たる總ての快樂愛等には、何の注意も拂はざる人々なればなり。」

敢て釀酒家諸君に向つて申ます、全世界の人類は双手を擧げてヘマンス夫人の眞情こもれる言葉を受入れて居るのでございます、「冷に空しき此世にありては子を思ふ母の情にまさりて深く強き愛は他にあらじ」と、酒類販賣禁止を熱望して居る人々の大多數は母てございます、單に慈母たるのみならず彼等は相當の教育を有し釀酒家よりも遙に深くアルコホルの性質ならびに其人體にもたらす影響とを研究し、「如何なる小量といへどもアルコホルは身體或は頭腦の上に必ず多少の害を及ぼすものなりとの科學上の定說を知る婦人達でございます、故に日々口にする食物に毒を入れない限りはアルコホルを入れやうなどゝは夢想だに致しません。

アルコホルの恐るべき特有性は飲用者にアルコホル其自身を以てせなくては、滿足させ得ぬ惡むべき嗜好を起す事てあります、之等の事を知りつゝ苟も母たるとなへにふさはしき母が其子を誘ふ爲に如何なる形に於てども酒精を用ひるてせうか。

「酒無き愛のコップは如何?」と、釀酒家は問ひました、母は曰く「酒を滿さば如何?」と、其は決して愛のコップては無く就中滅亡に誘ふコップてございます。

亞片を吸ふ支那人とアルコホルを飲む釀酒家とは「文明的生活の眞髄たる快樂」の裡にあると思つて居ります、然しながら燒野の雉、夜の鶴、子を思ふ親心優しくアルコホルの性質及び其に伴ふあらゆる誘惑を恐るゝ國の慈母達は、毒藥アルコホルが他の種々なる毒藥と同じく自由賣買を禁止せらるゝ日の來らん事を切望して日夜祈つて居ります。」

稿を終へて私は雜誌太陽の三月號を手に致しました、讀むとも無く一枚〳〵と頁を繰つて行く中に不圖目に止まつた「詩的趣味の居酒屋」なる記事、左に其一節を擧げて見ませう、

吾妻橋を半町隔てた此所に夜晝の安い酒盛にコップ酒は冷いが溫い歡樂は盡きず、一日に何斛賣り出す

か、各種の酒は流れて渇きはせない、隅田河に浮くかもめと居酒屋の土間に浮いた浮いたの人間と世の中は兎角樂まねばうそだ、あゝ近傍の隅田河、縱ひ流水は枯れても人世苦惱の絶えぬ間は此酒注場は永久に繁忙を極めやう。」

禁酒主義を駁するためにまたしても此所に快樂なるものが持ち出されてあります、快樂、あゝ快樂とは果して何をさして言ふ言葉でございませう。

重き人世の働、追ひ迫り來る義務それを忘れしめ、それを消す酒の甘味がもたらす狂的狀態、そこに眞の快樂が有るとは私は斷じて思ひません、

然しながら「居酒屋の土間に浮いた〳〵云々」之も一面の眞理、否弱き人の心狀の告白でございます。

「人世苦惱の絶えぬ間は此酒注場は永久に繁忙を極めやう」と、私は人世苦惱の半は酒に基因するとの此單絶なる事實の前に未だ深く眠つて居る我が世を悲しみいたむと同時に今更ながら我等の前途の遼遠なるを思ひ米國の一詩人がたゝへました樣に「結合せる惡の權勢を飽くまでも知りつゝなほそれにも増して正義の強き」を知つて居られたフランセス、ウヰラード女史を覺えつゝ全能の御力に伴なはれて勇進するの必要を一層感じます。

○文書課より

天地有情の春美しき此頃全國の愛婦方のいよ〳〵榮えまさん事を祈り居り申候、私共文書課委員も日々貴き働にいそしみ居り候へども何分にも經驗淺き者とて爲し出る事も無く御はづかしく存じ居り候

去る二月二十五日神田青年會館少年禁酒軍大會のみぎりは皆樣の御助言に依り僅ながらも禁酒書類を賣却致しまた同日並に翌二十六日の兩日にてリーフレット（白酒の害、暗國鐵道時間表等）各五百部づゝ配布致す事を得て嬉しく存じ居り候、只今私共手許に所有致せる書類は左の通りに候間何卒續々御注文下され度く候

幼年生理讀本　一部　二十錢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

酒禍の實驗	同	五錢
酒害豫防及救治	同	五錢
禁酒は税源を撼む	同	三錢
飮酒被害者行列圖	一枚	三錢
大澤博士酒害新説	一部	十錢

尙總て矯風文學に就き御用は何に限らず御申付け下されたく願上げ候

内外通信

○神戸支部通信

余りに久しう通信を怠り事古りてをかしき感はあれど、一月の出來事より通じ參らせなむ。

◎一月六日　午後一時より神戸教會日曜學校々堂に於て新年親睦會に兼ねて、市内各學校女教員諸氏の招待慰勞會を開く、年内より夫々準備して招待狀を普く發送せしに、會せられし女教員諸氏は極めて少數廿名に充たず甚だ遺憾に感ぜしも、會員約百名出席殊に本部會頭矢島老女史、大阪支部長林女史など臨席、熱誠溢るゝ快辨もてくさ／＼教へられ、一同大に益せられ充分の親睦も出來つれば希望の一を達せしものとして天父に感謝せざるを得ず。

執行順序左の如し

司會　渡邊會長

一奏樂		山田姉
一聖書朗讀	（詩九十篇）	岩本姉
一祈禱		松山氏
一開會の辭		司會者
一讃美	三六一	一同
一演說		矢島女史
一讃美	三六二（前半）	一同
一演說		林女史
一讃美	三六二（後半）	一同
一答辭		中宮小學校教師 兒玉姉
一祈禱		井上姉
一余興	（一箏 二福袋）	原田孃

矢島會頭は八十年間世路の困難と戰ひて得られし經驗に基づき、如何にしても、教育の實を完うせんとせ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ば、宗教と矯風事業と相携へて一致行進せざる可らざるを、懇々と說かれ、尙ほ併せて昨年夏同女史が滿七十七の御祝ひにとて、會員より參らせし贈物に對して厚き御挨拶あり、又其贈物なるお金の用途の如何にも有益にせられし事共一々お話あり、甚く敎へらる。

林支部長は人各生くるは唯神に奉仕のためなる事、如何なる小善も及ぼす影響の多大なるを思ひ神の爲め喜で盡す可き事、尙目下福音の宣傳未だあまねからざる、我國の如きにありては、團體戰爭の必要なる事、唯神のため、即ち神國を地上に來らすため、人生の幸福を增進せしむるため、一致協力働く可き事其一としては、日本の大弱點たる、一夫一婦の制の行はれざるに對し極力盡すべき事、延いては風俗を阻害する問題、特に目下和歌山に於ける公娼設置問題の如きに對し、空口に看過すべからざる事など熱誠もて語られ、一同大に勵まさる。

尙老會頭始め林、渡邊、兩支部長は明日大阪の新年會に臨み、續て堺に、和歌山に轉戰せらるゝ由、八十才の老軀を以て、此寒天に東奔西走道のため、神のため、人のため盡し玉ふ熱心には、誰れか激勵せられざらむ。

御兩人の演說終て入會を勸誘す、三名の新入會者を得たり、内一名は、中宮小學校の敎師にして浸禮敎會の會員たる兒玉くみ姉なり、同姉は立て答辭をなし、矢島老會頭の勇に勵まされ、自ら制する能はず、こゝに諸姉の會に加はりて共に社會風敎のため盡し、且つ導かれまほしとやうのお辭あり。

終て余興の琴、老姉妹達が苦心の福袋などに興じ茶菓の中に談笑四時半頃散會す。

◎七日　兵庫柳原檢番の藝妓、來る九日十日惠比須祭りに盛裝して寶惠籠にて、市内を練り歩くとの風聞あり、風俗を害する事大なれば、之が中止を乞はんとて、上阪中の渡邊會長を電話もて呼び戻し、速夜風俗課長、及び會長書記相携へて、警察部長を訪問、右請願す、快く諾せられ「未だ左樣の通知其筋迄來り居らざれど、充分注意すべし」との事感謝して去る。

右は『其筋の干渉に由り、市中を錬る事不能、僅に柳原一町内に止められし云々』の記事、其後新聞に見えたり。

◎三月四日　午後二時より例會を日本基督教會に開く、當番教會に差支ありて俄に場處を變更せしため、通知不充分にして來會者誠に少く僅に十六名、

鈴木姉會を司り讃美二七七を唱し聖書朗讀祈禱もて開會、先づ渡邊會長先般來京阪地方巡回中の所感を語られ、矯風事業の切要を説かれ、尚來る地久節を期して市内各學校に、大澤博士の『酒害論』一部寄附すべき事、平和課を設置せん事等提供、次會迄の宿題とせらる。

次て新川貧民窟に身を捧げて働かるゝ賀川豊彦氏の「近代道義生活に對する實驗科學の貢献」と題する有益なる講話あり、即ち宗教抜きにして只科學の力もて社會の改良矯風に致さんとする社會主義一派の勢力の、那邊迄及ぼせるかにつき研究し、併せて吾等の責任に説き進められ、大に反省奮勵せしめらる。

次て二三の祈禱及び岩本姉の家庭より、昨日は良人の誕生日を畫して全くアルコールを退けられ、次後菜食と綿服（但し從來のものは其儘）との主義を斷行すべく決心せられし由語られ、是れ亦深き感動を一同に與へられぬ。

讃美二五四を唱し司會者の祈禱をもて閉會す、時に四時。

◎京　都

新年早々本會々頭矢島楫子姉の關西地方に御來遊を幸ひ御歸京の途次、京都支部へも御來會を乞ひ一場の説演を承はらんものと樂しみつゝ一月十二日午後一時三十分より同志社女學校に於て、會長司會の下に新年親睦會を開く、三時頃迄大會の事につき種々協議をなし、其より矢島姉の御話をと預期せしに不幸にも姉は都合により御入洛叶はざりしかば、會員の失望一方ならざりき、されば餘れる時をなほ協議に費やし、かく

て茶菓の供を受け共に親しみて五時頃散會しぬ、會する者二十名、

入會者

山下夫人　大脇夫人

◎一月十三日午後二時頃、矢島會頭御來京遊ばされ、此夜、京都教會に於て祈禱會後、八時三十分頃より一場の演説を乞ふ事となれり會頭は八十歳に近き高齢に御はしましながら元氣に充てる體軀を以て卓前に現はれ徐ろに幼少よりの物語り姉妹の多人數ある中に殊に薄命なりし我は決然志を立てゝ故郷九州の僻邑より遙に東都に上りたりしは、時未だ明治の初代なりき、其より苦心慘膽漸く今日あるに至れり、然して健康も勝れ專ら育英と社會矯風事業に一身を賭せんと覺悟せり今や婦人は家庭の奥閨に潛みて只其一家一族を守るのみにあらず、更に吾人神の子として存在する以上は實に社會矯風の責任亦大なり希くは婦人は勿論男子の方に於ても此擧を賛せられん事をと實に、顔には希望の輝現はれつゝありき、集會せし七十有餘の夫人等は、大なる奬勵をうけ奮起すべき事を教へられ十時半頃散會しぬ、

京都支部が設置せられて以來滿十年となるも會員比較的少數にして従つて其力も弱く微々たるものなるが、來る七月には、全國大會を當地に於て執行する事と定まりたるより此際、當市有識者の同情を仰ぎ、本會擴張發展をはからむため、爰に諸士の援助を得て二月十日、十一日の兩日を期し、午後六時より青年會館に於て文藝會を開く

會の執行順序左の如し

第二回　二月十一日

	司會者　和田絹子
一獨奏	多田艶子
一開會の辭	牧野牧師
一獨唱	オルチン孃
一婦人の力	大學教授桑木博士
一獨唱	小川すみ子孃
一表情唱歌	少女數名
第二部	
一琴（さがのしらべ）	市原佐賀子
一講談（人の母）	眞龍齋貞水氏
一挨拶	

第一回　二月十日

	司會者　原田咲子
一獨奏	多田艶子
一開會の辭	牧野牧師
一四部合唱	外國人數名
一昔の女今の女	大學教授　谷本博士
一獨唱	グローパー夫人
一リーデング	ケリー博士
第二部	
一琴（小楠公）	市原佐賀子
一講談（主家再興）	眞龍齋貞水氏
一挨拶	

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

谷本博士は「昔の女、今の女」と題し高遠なる學說を手近の例にとりて丸顔は多血質、瓜實顔は神經質など丶、精神道德上の婦人の地位、男女同權の眞意義等につき約そ一時間に亘る講演を試みらる、

第二回の講演者は桑木博士にて「婦人の力」なる題下に、婦人の美、才、道德、愛等の力ある所以を古來の多くの實例によりて說明せられたり、兩夜とも各〻八百餘名の來會者を得頗る盛會なりき、

尙外に十一日午後一時より同所に於て矯風會家族會なるものを開く、

司會者　波多野貞子

一讃美歌	會衆一同	一談話	武田牧師
一祈禱	波多野貞子	一二十五絃(段物)	紀井間夫人
一會辭	牧野牧師	一演藝　數番	小兒有志者
一唱歌	有志者	一蓄音機(最新曲)	數種
一明淸樂	有志者	一家庭美談	眞龍齋貞水氏
		一挨拶	

當日は實に紀元節の佳辰に當れば半日の淸遊を樂まむと雨天にもかゝはらず、預定刻迄に續々來會せられぬ、一家團欒老幼打ち揃へて極めて家族的に淸らかなる會合をなす、散會せしは五時過。

・この文藝會、家族會によりて得し所の純益約一百三十圓にして之は來る七月當地に於て開催せらる丶矯風大會の經費の一部にあつる筈なり

◎二月廿二日午後三時より河原町御地する當支部事務所に於て文藝會に關する報告及び感謝會を開き、集まりたる姉妹方十五名、役員、會員方の斡旋と熱心との結果により矯風會の働目的を廣く世人に紹介し且つ多大の同情を得て成功の中に終決を告げしは感謝に堪えざるところ也

尙、當日決せし事は、慈善課を設けて、此度入會せられし八木小春姉を其課長として御依賴する事に定められし事どもなり、かくて夕陽美はしく西山を彩る頃一同感謝の念を以て此處を辭しぬ

入會者　貳拾壹名

○和歌山

◎一月三十日　午後二時よりヘール敎師御宅を拜借して新年會を催す、村越姉司會同姉の祈禱、一同の讃美の後岡本副會長は「婦人の生涯」なる題にて、瀧本會長は「矯風會の沿革」につきて各有益なる説話を試みられ多大の敎訓を與へられたり、次て讃美を以て一先閉會す夫より茶菓をいたゞきつゝ親しく談笑し村越姉の考案の福引に一層興をそへて時の移るも覺えざりき

來會者　三十七名

入會員

坂田梅子　高松靜枝　北代たけ
渡邊梅子　伊丹くわ　高山ふみ
藤田八重　笹川ちゑ　門とよの
松本茂の　宮家まさゑ　玉本まさ
田村むらゑ　藤田つるゑ

〆　十四名

現在會員數　五十五名

明治四十四年三月十四日

○横濱

◎二月廿日　指路敎會に於て總會を開く二宮會長司會一同讃美を歌ひ古田副會長聖書朗讀二宮姉の祈禱を以て開會、先會計の報告次に書記の報告あり直ちに役員選擧に移り二宮會長より種々なる事情の許に本年は會長を辭せられ古田姉を會長に城戸姉を副會長に推選せられ會員一同も同意せしも、城戸姉固辭せられ種々交渉の結果、投票と用ひず従前の通り滿場一致を以て左の諸姉を推選す

會長　二宮わか
副會長　古田とみ
會計　石川よう
同　石川ゆき
書記　丸瀬そま
同　大橋しげ

右終つて餘興として講談あり一同茶菓を喫しつゝ懇談し五時頃散會す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

井口丑二譯

新刊

歐洲 救貧事業の大勢

上製七十五錢
並製六十五錢
郵稅各八錢

歐洲十數ケ國の救貧事業を面白く記述したるものです。救貧の事業は目下一番大切なものです、然しこの方法を誤る時には却て有害となります、此書は最も有効な救貧法の參考として最も有益なものです。

○兒童を國賓とする伊太利○老廢勞働者を廢兵同様に優遇する墺太利○院内猶且選擧權を有する丁抹の養老院○奇抜なる露國の救貧法○日露戰役中兵士の家族○模範的なる獨逸の國兒保育法○餓ゑても救助を受けぬ半島の武士道國○女子の手に成る慈善事業○其他

發兌 東京京橋尾張町 振替東京五五三 警醒社書店 本郷春木町二 全支店

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地 株式會社秀英舍印行